



平成30年(2019年)3月22日

創業 90 年！滋賀県で建設業を営む老舗「目片工務店」

最先端の IT 技術を建設工事現場に導入

ウェアラブル端末を活用した「現場監督 1 年育成プログラム」導入

～遠隔指示により最速で人材を育成し、深刻な人手不足の対策とします～

京都No.1 ハウスメーカー(※1)エルハウジンググループの株式会社目片工務店(本社:滋賀県大津市 代表取締役:佐々木博樹)は、4 月 2 日(月)より新しい現場監督育成システムとして、業務用スマートグラスを活用した「現場監督1年育成プログラム」を導入し人材育成の早期化と業務の効率化を図ります。

■新人事制度「現場監督1年育成プログラム」とは？

今回の新人事制度「現場監督1年育成プログラム」は、スマートグラスを通して見ているものをリアルタイムで共有し、熟練者が離れた場所から新人の指導を行うという新たな教育制度です。ある程度の知識を身に付けた新人が1人で現場を持ち、必要に応じて別の現場にいる熟練者からの指示を仰ぎます。電話による口頭説明や、スマートフォンによる写真送付だけでは伝わらない現場の機微が伝わり、熟練者は的確な指示を出すことができます。

ポイント①人材育成期間を大幅に短縮します

このプログラムの導入に伴い、**従来 3 年を要していた現場監督の人材育成期間を、3 分の 1 となる 1 年に短縮**することを目標としています。建築現場を管理する現場監督の育成において、従来は一人前になるまで熟練者と同じ現場に同行し、技術やノウハウを習得するといった従弟制を採用していましたが、このプログラム導入によって、新人が早い段階で自分の現場を持つことが可能となり、より自立を促します。

ポイント②建築業界における人手不足という課題を解決します

熟練者が自分の担当の現場を見ながら指導に当たることができるため、教育に費やす時間が短くなり、より多くの現場を効率よく見ることが可能になります。監督できる現場数が増えることで、熟練者・新人共に労働時間が軽減され、残業を減らし働きやすい環境が生まれ、離職防止にも繋がります。



▲映像を見ながら指示を出す様子



▲スマートグラスを装着し作業する様子

※1 住宅産業研究所調べ「2016 年度京都府着工棟数ビルダーランキング第 1 位」

お問合せ先

株式会社目片工務店 広報担当：松木平（マツキヒラ）

〒520-0843 滋賀県大津市北大路一丁目 7 番 15 号

TEL 077-537-0772 FAX : 077-533-0795 / E-mail : matsukihira@sagano-g.jp

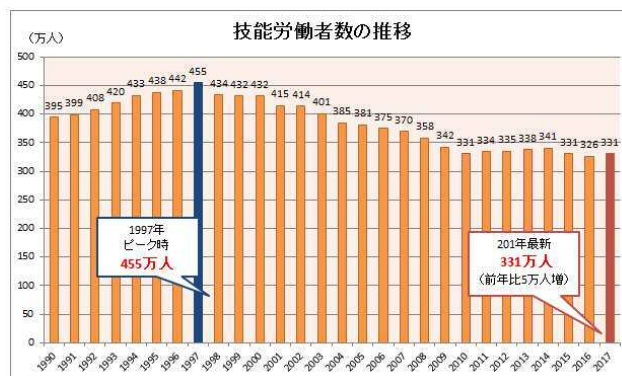
<参考資料>

《建築業界をとりまく社会問題について》

建設業界において、①人材不足および高齢化、②長時間労働が大きな社会問題となっています。厚生労働省と国土交通省が連携し、建設業の人材確保・育成に向けとりまとめた「建設業の人材確保・育成策」が、平成 29 年 4 月 21 日に公表されています。

問題①人材不足および高齢化

総務省の「労働力調査」によると、技能労働者数は平成 9 年の 455 万人をピークとして 2016 年には 326 万人まで減少していましたが、2017 年は前年比 5 万人増の 331 万人と 3 年ぶりに増加となりました。しかし建築業就業者は、55 歳以上が約 34%、29 歳以下が約 11%と高齢化が進行しています。次世代への技術承継が大きな課題となっています(※ 2)。実数ベースでは、建築業就業者数のうち平成 26 年と比較して 55 歳以上が約 4 万人減少しているのに対し、29 歳以下は同程度の水準となっています。職人の高齢化や後継者不足に伴う人材不足が深刻になりつつあります。



問題②長時間労働

厚生労働省の「毎月勤労統計調査」によると、建設業の労働時間や出勤日数が、全産業や製造業に比べて長くなっています。時間外労働規制の見直しが行われていますが、2020 年の東京オリンピックに向けて深刻な人手不足が予想され、適用時期が問題となっています。

実労働時間及び出勤日数の推移(建設業と他産業の比較)※3



《スマートグラスについて》

名称:MOVERIO BT-350

質量:119g(ヘッドセット部 ※シェードおよびケーブルを除く)

129g(コントローラー部)

用途に合わせたアプリケーションをインストールして利用する EPSON の商用ハードウェアです。弊社ではジャパンメディアシステム株式会社の遠隔作業支援システム「Live On システム」をインストールし活用します。



《Live On システムとは?》

Live On では映像に加え資料もリアルタイムに共有が可能となり、スマートグラス着用者が、遠隔地にいる熟練者とコミュニケーションを取りながら作業ができます。PC からだけでなく、iPad から利用が可能となり、社外や遠方からでも指示することが可能です。

Live On
VISUAL COMMUNICATION SYSTEM

※2 国土交通省 HP より「最近の建設産業と技能労働者をめぐる状況について」<<http://www.mlit.go.jp/common/001120144.pdf>>, 2018 年 3 月 11 日アクセス

※3 厚生労働省 HP より「毎月勤労統計調査(全国調査・地方調査): 結果の概要」<<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/30-1a.html>>, 2018 年 3 月 11 日アクセス